

2025 年 4 月 30 日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社RE－INNOVATIONSに「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社RE－INNOVATIONS（代表取締役：岸田 隼人）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社RE－INNOVATIONSについては、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

- ① 太陽光による発電ロスを抑える設備の導入促進を通じた脱炭素社会への貢献、エネルギーの地産地消事業を通じた地域の活性化

事業内容	安心、安全、安定的な再生可能エネルギーの普及促進を企業理念とし、新規や既存の太陽光発電所において、MLPE（Module-Level PowerElectronics）技術を搭載した設備の導入を促進しておられます。MLPE技術は太陽光発電による発電ロスを抑え、発電量を最適化することが可能です。また、福岡県八女地域において地元企業と協働し、エネルギーの地産地消を目指す「LED'Sプロジェクト」を支援しておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	気候変動の緩和
社会課題解決への貢献内容	MLPE技術の普及により、太陽光発電による発電量の最適制御が可能となれば、脱炭素社会に向けて再生可能エネルギーのさらなる導入拡大が期待できます。パネルごとの発電量が見える化することで、保守作業等の省力化を図れるとともに、安全性機能を強化することで、事故による被害を防ぐことにもつながります。また、「LED'Sプロジェクト」は、地域で再エネ関連の事業を立ち上げることで、新たな雇用創出につながる可能性があります。地域でエネルギーの地産地消が広がれば、災害時の停電による被害軽減等にもつながります。

（参考）社会課題概要

世界の平均気温は上昇し続けています。2023 年は最も暑い年となり、産業革命前と比べて 1.5℃ 近く上昇しました。気候変動は企業に様々なリスクをもたらします。海面上昇により沿岸部の工場の操業停止を余儀なくされるリスク（「物理リスク」）や、国による規制等の強化により事

業活動が制限されるリスク（「政策リスク」）、社会・消費者の需要の変化により事業機会が縮小するリスク（「市場リスク」）等が考えられます。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以 上